

第9回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：令和6年11月13日（水）

15時00分～17時00分

場所：逗子市役所5階 第1・2会議室

出席者

- [メンバー] 田中 美乃里、飯野 幸、菊池 俊一、山上 寿美、横山 奈緒子、
菊池 千春、岡田 和夫、歌代 光雄（高松 智一代理）、若菜 克己、
福井 八洲雄、岩佐 正朗（順不同、敬称略）
- [オブザーバー] 鎌倉保健福祉事務所環境衛生課、横須賀土木事務所許認可指導課、
公益財団法人かながわ海岸美化財団、横須賀三浦地域県政総合センター
企画調整課
- [事務局] 逗子市市民協働部経済観光課
課長 黒羽 秀昌、主事 宮上 敦久、主事 小林 健吾

欠席者

- [メンバー] 菊井 健一、熊岡 寛展、黒田 尚弘、來嶋 政史、徳本 恒徳、
山口 学、横山 健、瀬田 敦子
- [オブザーバー] 逗子警察署地域課

会議公開の可否

可

傍聴者

4名

会議次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 来年度に向けた課題の整理
 - (2) その他
3. その他

配布資料

- 資料1. 令和6年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書に記載する項目について
資料2. 令和5年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書
資料3. 令和5年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書の項目についての実施結果

1 開会

- ・事務局より、検討会は傍聴できることと、マスコミの頭撮りについて説明を行った。
- ・事務局より、資料確認を行った。
- ・本日の会議の趣旨説明を行った。
 - 前回の検討会で市作成の「令和6年度逗子海水浴場報告書」に基づいて、今年度の海水浴場運営について報告を行い、皆さんに今夏の所感・意見をいただいた。
 - 今回はさらに踏み込んで、「令和6年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書」を見据え、項目ごとに課題などについてのご意見をいただきたい。
今回と次回を目途にまとめていただき、1月末には検討会報告書としてまとめていきたいと考えている。ご協力をお願いしたい。

2 議題

(1) 来年度に向けた課題の整理

- ・事務局から配布資料及び検討会報告書へのまとめ方について説明を行った。
 - 資料1は、昨年の検討会報告書の項目を参考に項目ごとにまとめているため、項目に沿って議論していただきたい。なお、記載している項目は案であるため、追加や削除の意見もいただきたい。前回いただいた所感・意見は欠席者の所感も含めて各項目の意見に割り振っている。意見には市の報告の内容を参考に載せている部分もある。これまでの所感で各項目のトピックスになりそうな内容は報告欄に箇条書きしている。これらも踏まえて報告に載せるべき内容を議論していただきたい。
 - 資料2は昨年の検討会報告書のため、参考にしていただきたい。
 - 資料3は昨年の検討会報告書の報告内容に対する実施結果を記載している。項目ごとの議論の参考にいただきたい。
- ・逗子市新宿自治会から住民向けに実施したアンケート結果の説明があった。
 - 海の家営業時間変更や音楽イベントなどの重要事案は、理事だけで自治会の意見を判断せず、可能な範囲で班員の意見を伺ったうえで取りまとめており、今回は非会員のマンションの方もアンケートに参加していただいた。
 - アンケート項目は説明資料のとおりで8月1日に約1,600枚を配布した。全体の3割程度の約470枚の回答があった。回収率は新宿1・2丁目が50%、3丁目が60%、4丁目が80%、会員マンションが12%、非会員のマンションが28%であった。
 - 営業時間は延長可が3割、反対が6割で、海岸から遠くなるほど延長可が多かった。丁目ごと、会員マンション、非会員マンションごとにも集計しており、音楽イベントに関しては1・2丁目は半々、3・4・5丁目はやってもいいが多数を占める。会員マンションは行うべきでないが大半で、非会員マンションも行うべきでないのほうが多かった。
 - アンケート結果を理事会で議論して要望書文案を作成した。営業時間の延長に関しては認められないため、20時閉店を要望する。音楽イベントは海岸からの距離で大きく考え方が違うが、直接的に影響を受ける海岸近隣の意見を重視し、実施しないほしいと要望する。音楽イベントについてはどんな条件であれば可能かも回答してもらっており、時間やアルコール、マナー、内容について、家族向け、地元高校生、ア

コースティックオンリーなどさまざまな意見があった。あとは600通の意見をAIでまとめているため要望があれば提供する。

- 市、海岸組合、警察、関係者の努力を評価する声もあるが、10年前のことを引きずっている意見もある。特にシンボルロードを通過して帰る客のことやマンションの管理組合の困っている声もあがっている。あとは各項目の議論の中で紹介していきたい。

- ・ 1. 利用者に関する報告について、次のとおり議論があった。

(1) 全般

- 利用者は外国人の割合が高くなっており、問題を起こすのも外国人の割合が高く感じている。シンボルロードの帰り道で音楽を流さないように注意すると、わざと音量を大きくしたりもする。その辺りも対策が必要と考える。多くの利用者は概ね守っていると感じており、閉店時間もしっかり守ってくれていた。近年は気温が高いため熱中症対策が必要だと思う。多少の飲酒で気分が悪くなってしまう人もいる。
- 半数近くが外国人ではないかという意見がある。外国人だから来てほしくないというわけではないが、ファミリービーチの趣旨とは違うのではないかと。排除するわけではないが偏った広報をしているのであればやめていただきたい。ここまで外国人が多いとファミリービーチとは違う方向にいつているのではと感じる。
- 海の家や建築中やゴールデンウィークは外国人比率が非常に高くなっているが、海水浴場が始まると多くて2～3割になる。
- 夜遅く海岸に行くと外国人が多い。ファミリー層は少ないように見える。
- 国内全体で外国人観光客が増えている。ファミリーをもっとターゲットにしていきたいのであればそういった広報ができるのではないかと。一方で景気を良くするのであればインバウンドというやり方もあるのかもしれない。熱中症対策の話も出ている。そういうところも留意する必要がある。何度も注意される違反者や挑発行為は(2)で盛り込めたらいいのではないかと。
- 振興策をこの場で議論するべきでなく、安全に関して話し合うべきと考えている。全般で振興策が必要と書くのは控えたい。

(2) 条例等ルールを守らない利用者への対応

- 毎年来てルールを守らない外国人で、みんなが顔を認識しているのにも関わらず、名前も住所も分かっていない。県の迷惑行為防止条例などで刑事罰を与えないと効果がないと思っている。警察に協力してもらい対処しないといけない。守らないのは彼らだけのため、しっかり対応していくことが必要である。そういったグループの近くを歩くのは危ないと思い、今年はゴープロをつけて砂浜を回ろうと思っていた。職員も一生懸命注意してくれているが危ないのではないかと危惧している。特定のグループにどう対応していくか、しっかり対策を考える必要がある。他市を見ると外国人が暴れている状況もあり、そういう状況になってしまうのではないかと懸念している。透明のグラスではなく黒やシルバーのグラスを持ち込んでいるのも、ルールを分かたうえで酒を入れているため排除しないといけないと思う。外国人だからではなく、守っていないのは彼らだけである。

- 特定のグループに警備員や市職員のリソースが割かれている。イメージも悪くなる。県の条例で対応できるのか。
 - 県の迷惑行為防止条例には幅広く書いてあるため、なにか使えないかと思う。彼らの飲酒や音楽はゴールデンウィークから始まっている。
 - 飲酒が禁止されているのに飲酒をしていることに関しては対処できないか。
 - 飲酒禁止は市が決めただけであるため難しいと思う。うるさいといった騒音などで法律に詳しい方に意見聞けないのか。
 - 5・6年前くらいに警察に相談したときは難しいと言われたが、状況が変わっているため改めて必要かと思う。
 - 逗子警察は協力的であるため相談してみたほうがいい。常習化しているため、身分証の提示などだけでもできないか。逃げられてしまう。
 - 東浜・西浜と分けることも嫌だが、子どもをあっちには連れて行きたくないという声もある。それはルールを守らないグループのせいもあると思う。
 - ゴールデンウィーク辺りからバーベキューや音楽等のマナーがひどい状況である。その延長で海水浴場期間中はパワーアップしていると思う。海水浴期間外も規制できないか。ここで話すことではないと思うが、逗子の海岸はずっとダメとしないと、なかなか難しいと思う。特定のグループを排除することが一番だと思うため、全体的に考えてもいいと思う。年中取り締まることはできないと思うがどうにかしていかないと夏だけでは収まらないのではないかと考えている。
 - ゴールデンウィークの海岸が嫌だなど思い始めている。子どもを遊ばせられない。警察に相談したらどうなるか。こわいと言って警察に対応してもらえないか。毎回住民が警察に言えば注意しに行ってくれるのか。
 - 110番通報すれば行ってくれると思うが理由がないと警察の対処も難しいのではないかと。
 - その場で注意して、ゴミを持って帰ってくださいくらいは注意できると思うが、結果的に置いていかれたりするため、海自体に規制をかけないといけないのではないかとと思う。
 - 話が大きくなりすぎており、検討会で話をする内容ではないかもしれない。みんなの海岸であるため対象者にはそこを考えてもらえるといい。海水浴ルール以外も使って何かできないかと思うが市は何か考えていることはあるか。
- ⇒パトロールの仕方を変更しようと考えている。常連のグループが集まる場所があるため、そこに警備員が留まるような体制を組むことを考えている。
- 退場勧告の要件になっている一日三回の注意の回数を変えたらどうか。毎週来て顔が分かっているため、カウント方法を1シーズン三回等に変えたらどうか。警備員が仲良くなりすぎている。通報が来たらすぐに行って退場などの対応でないとダメで外国人アドバイザーを入れているところは他にないため、もっと厳しく対応すべきだと思う。
 - 諭すのではなく、「これ以上やるともう来られなくなるよ」など、もっと厳しい交渉、対応をしていかないといけないと思う。警備員からの注意の仕方も気を付けてほしい。来年はしばらく見張る等の警備の仕方を変えていただきたい。対象は狭まってきた。

(3) 飲酒対策

- ルールを守らない利用者等で触れる部分はあるが、飲酒対策単体で見たときに項目を残したほうがいいのか。残して意見を書いてほしいものはあるか。
- サンシェードは三方閉じていると飲酒や熱中症になっていても外からは分からない。景観的にも悪く、空気もこもるため、二方向空いていないといけないなど規制をしてほしい。
- 日除けとして、何もないよりはテントがあったほうがいい。
- 飲酒だけでなく風で飛ばされてしまう危険もある。
- 使うなども書けないが、その他の項目で二方のものを使ったらどうかと書くか。
- 他市でドーム型のテントの中で熱中症で亡くなった人がいる。
- その件は大きなテントで一泊していたのではないか。

(4) ごみ対策

- 街中のごみを拾ってくれてはいるが、ごみの問題は多くの意見がある。一個でも落ちているとポイ捨てごみがあると言われてしまう。あれだけ多くの人があればごみも落ちてしまうとは思いますが、夜に海岸組合が拾ってくれても、朝に自分で拾うとボランティア袋がいっぱいになる。こんなもんかなとも思うが、ごみがあることは事実である。日本人はゴミステーションに置いていたり、塀の上に置いていたりする。
 - 海水浴場ルールを守らない外国人もごみを路上等に捨てる外国人もほとんど同じ人だと思う。外国人でもきれいなビーチが好きでしっかり処分してくれている人もたくさんいる。米軍でも上層部の人たちと話をし、米兵に言ってもらうと効果があるため、繰り返し違反する人に対しては働いている会社や職場の上の人に話すなどそこまでしないと難しいのではないか。ごみをポイ捨てしないマナーある人に来てもらいたい。
 - 海岸中央のエコステーションで分別の呼びかけを18時くらいまで行っていて、その時間帯まではしっかりしていると感じている。この取り組みは継続する必要があると思う。
- ⇒エコステーションは夜も電気をつけたままにしており、マナーアップ警備後にごみ箱の整理をしているため、その後のごみかもしれない。工場がある鳥浜、追浜等には、工場長にも話をし職員に周知してもらっているが、蒲田等もう少し遠くから来ている人もいるようだ。
- 大使館に言うことはできないのか。
 - どここの国の出身なのかもわかっていない。対策は講じているが憂いている。マナーに頼る以外も必要か。

(5) 防犯カメラ

- ぜひ今後も設置してほしい。自治会でも屋敷通りに6カ所設置しようと思っている。今は2カ所で来年もう1カ所つかする予定でいるが、シンボルロードの中央のところは固定費もかかるため、ぜひ市で設置してほしい。
- 水上オートバイもカメラで見られていると思うと抑止力になる。スピーカーでアナウンスするとどこからか見られているのではないかとって言うことを聞く。逗子マ

- リーナの客で言うことを聞かない人がおり、逗子マリーナは顔が分かれると注意ができると言っていたため、そちらにもカメラがあるといい。
- 海にもカメラがあると良いと常々思っていたが、陸も大変であるため言えないでいた。
- 浄水管理センター辺りにカメラがあると何かあった時にいいのではないか。
- 水上でのトラブルでも対応できるようにカメラがあると良いというところか。

(6) その他

- 新宿自治会と下桜山交友会で蘆花記念公園を津波避難所として整備してほしいと市に申し入れをした。今夏の津波避難訓練は、自分でもやっていて良かったと思った。避難案内に関してはもっと力を入れていただきたい。
- 下桜山交友会からも意見があったため、ぜひ報告にいらしてほしい。
- 水上オートバイは例年よりトラブルが少なかった。スピーカーでの案内等が効果的であったため継続が出来たらいいと思う。南海トラフ地震臨時情報が出たため、海が無い県から来る人が少なかったことや、台風の影響で馬入川が荒れていてルールを守らない人が来られなかったことが大きいと考えている。8月最後の土日はたくさん来たため問題はあった。ルールを守ってくれる人は増えているが、今年はマナーの悪い人が来られなかっただけのため対策を緩めないようにしないといけない。
- アンケートでも水上オートバイに関して罰則や規制強化の声があった。今後も厳重な注意をしてほしい。操縦者に飲酒をさせない取組は良かったため来年も対応してほしい。飲酒運転を警察と協力して対処してほしい。見張っていれば摘発できるのではないか。
- ・ 2. 海の家に関する報告について、次のとおり議論があった。

(1) 全般

- 複数の泥酔者を出した海の家が店長が謝った場に居たわけではないので意見欄にそのことを記載しなくてよい。反省しておらず、あのような海の家は認められない。ルールに対してそういう認識なのと思った。市職員も監視員も居る場である態度は有り得ない。あの海の家が営業するならば海の家全て開くべきでないと思う。
- 起きたことは事実であるため報告にあげていいと思う。組合としては再発防止・指導に努める。海の家で対応しきれない場合は役員を頼るように周知していく。失礼な対応をしたことに対しても指導しており、組合として謝罪申し上げる。
- 組合役員もよく対応してくれている。だが店長が言ったことは本音なのと思った。いじめないでくださいと言われて、いじめだと受け止めているのかと感じた。一杯でも飲んだら泥酔してしまう人もいられると言われ、確かにそういう人もいるがそういう認識なのかと思った。
- 客のリーダーから俺が責任を取ると言われたと聞いたが、そういうことではなく、店が対応できないのであれば組合役員を呼べと伝えた。
- 副店長がスマートフォンで撮影を始め、「どうしたらいいんですか、言ってくださいよ」と開き直っていた。昨年もあったと監視員も言っていた。昼間から飲んで騒いでおり、何人が倒れても普通に営業していて非常識だと話していた。課長に「立ち話ではなく、役所でしっかり聞いた方がいい」と言ったら、店長から「行っていいんですか、行ったらこの場を収拾できないですよ」と発言があった。

- 組合理事に報告があれば対処できるためすぐ知らせてほしい。
 - この件は住民も知っている。その後、該当の海の家は8月16日に営業停止となったが、その日は台風の日だった。
 - 台風の狙ったのではない。台風の予報が入ってくる前にその週の月曜日から木曜日まで試行的に延長している20時以降を営業停止にすると申し出があったが、時間短縮だけでは不十分と判断して、市と協議して1日営業停止とした。結果だけ見れば台風の日を選んだと思われて当然だが、16日に台風が直撃することはその時点では分からなかった。
 - そういった情報は住民には伝わって来ないまま海岸組合や市に苦情が入ってしまうため、そういった話はしっかりと告知する等伝えないといけない。
 - 組合は早急に対応してくれたと思っているが、台風の日を選んだと思われてしまっているため、事前に組合から知らせてくれればいい。対処したのであれば告知したほうがいい。
 - この場で経緯や処分を聞いたが、文書で出してくれると分かりやすい。営業停止の決定が台風の予報の出る前だったと分かるように、反省文や謝罪文などの記録を残してほしい。
 - 今回の件を受けて再発防止、対策を徹底していきたい。
 - 起きたことを軽視してはいけない。泥酔者を出さないよう店内の飲酒は海の家がコントロールする。それができない状態は組合が対応するような体制作りなどで再発防止に取り組んでもらいたい。
 - 今回の件は泥酔者が複数出てしまったことがポイントであり、それを海の家でマネジメントできなかった。マネジメントできない場合には速やかに組合に報告し、組合が対応して次の泥酔者を出さないよう再発防止に努めていく。
 - 水上オートバイにライフジャケットを置いていき、海の家で酒を飲むときにシルバーのグラスに入れて中身が分からないようにしている。それもどうなのかとおもっており、いたちごっこになっている。なんとしても飲ませたいのか。外から見ていると飲んでる人の顔が赤くなっている。いきなりグラスが変わっていて疑わしい。
 - 海の家向けの説明会があると思うため改めて市からも説明してほしい。
- ⇒毎年、事業者説明会でルールについて説明しているが、説明会から開設まで時間が空くため、組合と協議して開設前後の店長会議などで話す機会を設けたいと思う。
- 市民からテラス利用に関して問い合わせ・要望があった。県の見解を伝えているため、この場で示しておきたい。新宿自治会のアンケートでも触れられており、同じような要望が複数あった。バーベキューの煙害、プライバシー侵害、台風時などの飛散リスクから、テラス席を認めないでほしいという内容であり、県としては、審査基準に違反するものではないと考えている。テラス席と平屋建ての考え方として、平屋建てと決まっているが、屋上の利用を禁止するものではない。煙害とプライバシーについては、バーベキューは海岸法によって禁止されている行為ではなく、よしすが設置されているためプライバシーに配慮されていると考えている。台風時の飛散リスクは、天気予報等で予測される場合には屋上利用に限らず、県が適正な管理を指導している。結論としてテラス席の利用を禁止するものではない。平成26年に審査基準を作成するにあたって、当初は利用を禁止していたが、海水浴場組合から再検討してい

ただきたいと要望があり、再検討した結果、制限はせず積極的に利用を推奨するものでもないとした。

- 6 軒テラス席を利用する海の家があったが、目隠しはさまざまなものだった。これは A 評価、B 評価などの評価はされているのか。
- 県としては申請時に図面があがってきた段階で目隠しがあるか確認している。
- 一重のネットではプライバシーの配慮になっていないのではないかという話がある。自分でも問題があるのではないかと思っており、何らかの指示をした方が良いのではないか。
- 県では指示までは難しいため、検討会の中でこういったものであればプライバシーが保護できるか協議してもらえればと思う。
- 3 年前に自治会から市に目隠しの要望があり、市と協議して組合が自主的に設置するようになった。
- 5 月頃の検討会などで県と市から指導があったと聞いて、こういった目隠しなら良いなどの判断がされたと思っていた。効果がないものをやっても仕方がない。
- 来年はどの厚さがいいなど自治会長のチェックで良いのではないか。
- 壁を立てろということになると風が抜けないなどの問題が出てくるか。
- 壁を立てると通気の問題や 2 階席と判断されるため不可能のはずである。
- 屋根や壁があると 2 階建てとなり、平屋建ての条件から外れてしまう。
- 要望している人は 2 階と言っており、説明が足りないのではないか。
- 県としては平屋建ての屋上利用と丁寧に説明している。
- 煙害についてもどうするのかというところかと思う。
- 配慮いただきたいと書いてもらいたい。

(2) 海の家の営業時間

- 立场上、延長を了承いただきたいが、組合としては臨時総会を開いて報告したいと思っていた。理事としては 20 時に BGM を切ってスムーズに閉店に向かったことは良かったと思っており、いつもより閉店しやすかったと思っている。試行的イベントは申請が県に行ってから市に行って、現場の立会いなど大変な作業だった。来年も試行的にやるのであればどういう組織でどのようにやるかを検討会に示していかないとけないと思っている。費用負担等も考えると、市の予算もある中でどうしていくか。海水浴場としてどうすべきかを何年かかけて見ていくしかないのではないか。今日この場で組合の意向は発言できないが、試行によって大きなトラブルは起きていないと考えている。
- 予算の面での検討も必要であり、今年は延長部分の警備費用は組合負担していた。66 日間延長になると市の負担となるのか。
- 66 日間やる予算となるとかなり審議しなければならない。今年やってみてどれだけ反応あるかと思っていた。苦情はなかったということだが、とりまく環境の変化を踏まえ、ファミリービーチ逗子海水浴場に求められるものかどうかを探っていくもので、条例改正してからの 10 年で初めて延長した。今年も 15 時、16 時ころからの来場が増え、夕涼みが多い印象で需要がどれくらい高まっているかは今年限りの試行では判断できないと考えている。猛暑は続いていくと思われるため、夕方からのニーズ

が高まっていくのであればゆっくりできる仕掛けもいるかと思う。組合からもう一年という話があれば、来年の試行的取組を検討していきたい。

- 地域住民とのリレーションシップの強化を求めている。海の家に対する良い印象と疑問や懸念の両方がある。市も組合も説明が不足していると思っている。今年のことも含めてもう少し住民に対して広報活動をやってもらえたらと思っている。
- 先程の発言は個人的な意見のため、次回までに組合の臨時総会等で意見を確認し、総意を報告したい。

(3) 海の家音楽・イベント

- 自治会に何かやっていたなどの話はあったか。
- 7月の初めのワイルドボア以外で外に音が聞こえたイベントはそれほどなかったと思う。ワイルドボアのイベントは家にいてやっているのだなと思った。声が大きかったと思う。
- 海を家の作りの問題もあると思う。イベントの中ではバナランドが一番大きかったが、それでも134号線まで大きく音が漏れていることはなかったと思っている。
- あの状況を抑えることは難しいと思う。
- 楽器はある程度コントロールできるかもしれないが、歓声等の客の声はコントロールが難しいと思う。
- 134号線の車の音と同じくらいだと思う。
- 車の音はいつもあるため違和感がないが、音楽は異音であるため気になる。
- いろいろやっているとドラムは難しいなど見えてくると思う。
- いろいろやることで見えてくると思うが、条件付きで良いという回答がアンケートで多くてうれしい。こういったイベントなどが求められていると思う。反対の人にも見に来てほしい。今は1日1店舗のみだが、これが2店舗になったらどうなるか。寄席や落語もできたらいいと思っている。

3 その他

- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明を行った。
 - 12月に引き続き検討していただきたい。次回検討会までに今日の議論の内容をまとめて報告案として提示したい。次回で報告書の内容をまとめていただき、1月に完成を目指したい。次回は12月17日14時30分を考えている。

以上